

3. 課題の抽出

景観特性の分析から明らかになったように、本市の景観は、豊かな表情をもつ地形や恵まれた水とみどりに囲まれた環境のもとで長い時間をかけて培われてきましたが、その良好な景観を損なうような変化が起こりつつあります。

本計画の冒頭、「景観計画策定の趣旨」において示した「八王子らしい景観づくり」を実現するために、本章での、本市の景観特性の現状分析の結果を踏まえて景観形成についての課題を以下のように整理し、多様な自然、歴史文化、まちが共生することによって生み出される景観を大切にすることで、八王子の魅力を高めるための景観形成の取り組みの展開につなげていきます。

課題1 「八王子らしい景観」のイメージづくり

山並みや丘陵地、浅川をはじめとする河川、甲州街道をはじめとする幹線道路等の都市の軸においてふさわしい景観づくりを進め、「八王子らしい景観」のイメージを市民が共有できるようにすることが必要です。

課題2 「八王子の顔」となる景観づくり

八王子駅や高尾山をはじめ、多くの人々が集まる駅や観光地の周辺等、都市の拠点において、賑わいや活力が感じられ、かつ、「八王子の顔」としての風格も感じられる景観づくりを進めることが必要です。

課題3 地域ごとの特色を活かす景観づくり

本市の成り立ちの背景となる自然環境や都市形成の変遷、歴史や文化等を理解し、それぞれの地域の魅力や特色を活かした景観づくりを進めることが必要です。

課題4 地域に残る景観資源を活かす

開発や道路整備等によりまち並みに変化していく中で、地域に残る歴史的・文化的・自然的な景観資源を大切に保全し、活用していく取り組みが必要です。

課題5 多様な景観をみんなで作る

身近にある良好な景観を、共有財産としてみんなで守り、創る仕組みの構築や、市民の景観形成に対する意識高揚を図る取り組みが必要です。

